
2019年8月期決算説明会

(2018年9月1日～2019年8月31日)

株式会社アドテックプラズマテクノロジー
代表取締役社長 森下 秀法
(東証2部 6668)

会社概要

商号	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー		
本社所在地	広島県福山市引野町五丁目6番10号		
設立	1985年1月（昭和60年1月）	代表者	森下 秀法
資本金	835百万円（2019年8月31日現在）		
連結子会社	Adtec Technology, Inc.（米国）	1996年8月設立	
	Adtec Europe Limited（英国）	2000年8月設立	
	株式会社IDX（栃木県）	2004年12月子会社化	
	Phuc Son Technology Co., Ltd.（ベトナム社会主義共和国）	2011年5月設立	
	Hana Technology Co., Ltd.（韓国）	2011年5月設立	
	愛笛科技有限公司（台湾）	2014年8月設立	
	蘇州啐啄電子有限公司（中国）	2016年4月設立	
発行済株式数	8,586,000株（2019年8月31日現在）		
従業員	連結：362名（2019年8月31日現在） 単体：151名（2019年8月31日現在）		

2019年8月期 業績概要

業績概要

連結

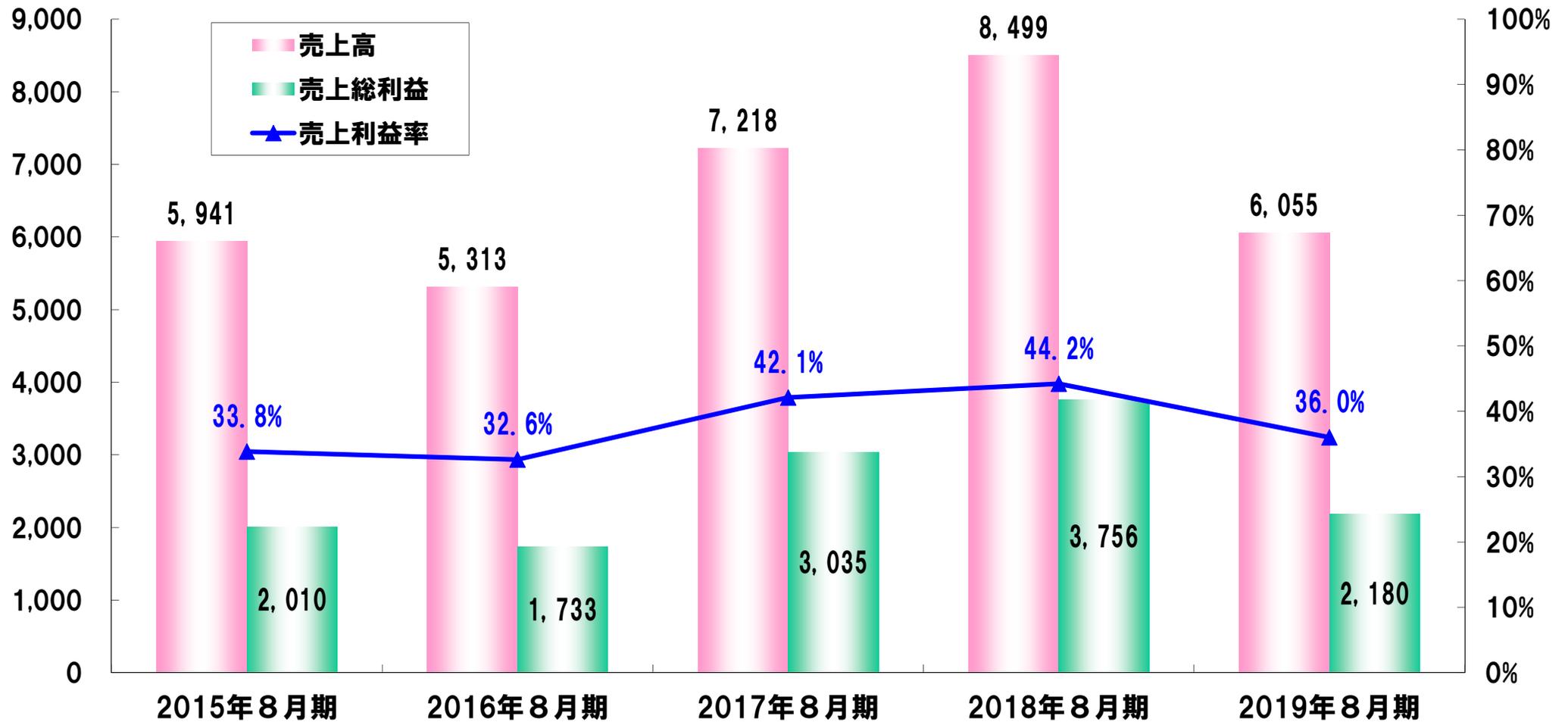
(単位：百万円)

	2018年 8月期	2019年 8月期	増減額 (増減率)
売上高	8,499	6,055	△2,444 (△28.8%)
売上総利益	3,756	2,180	△1,575 (△41.9%)
営業利益	1,827	569	△1,257 (△68.8%)
経常利益	1,845	515	△1,330 (△72.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,300	352	△947 (△72.9%)

業績概要

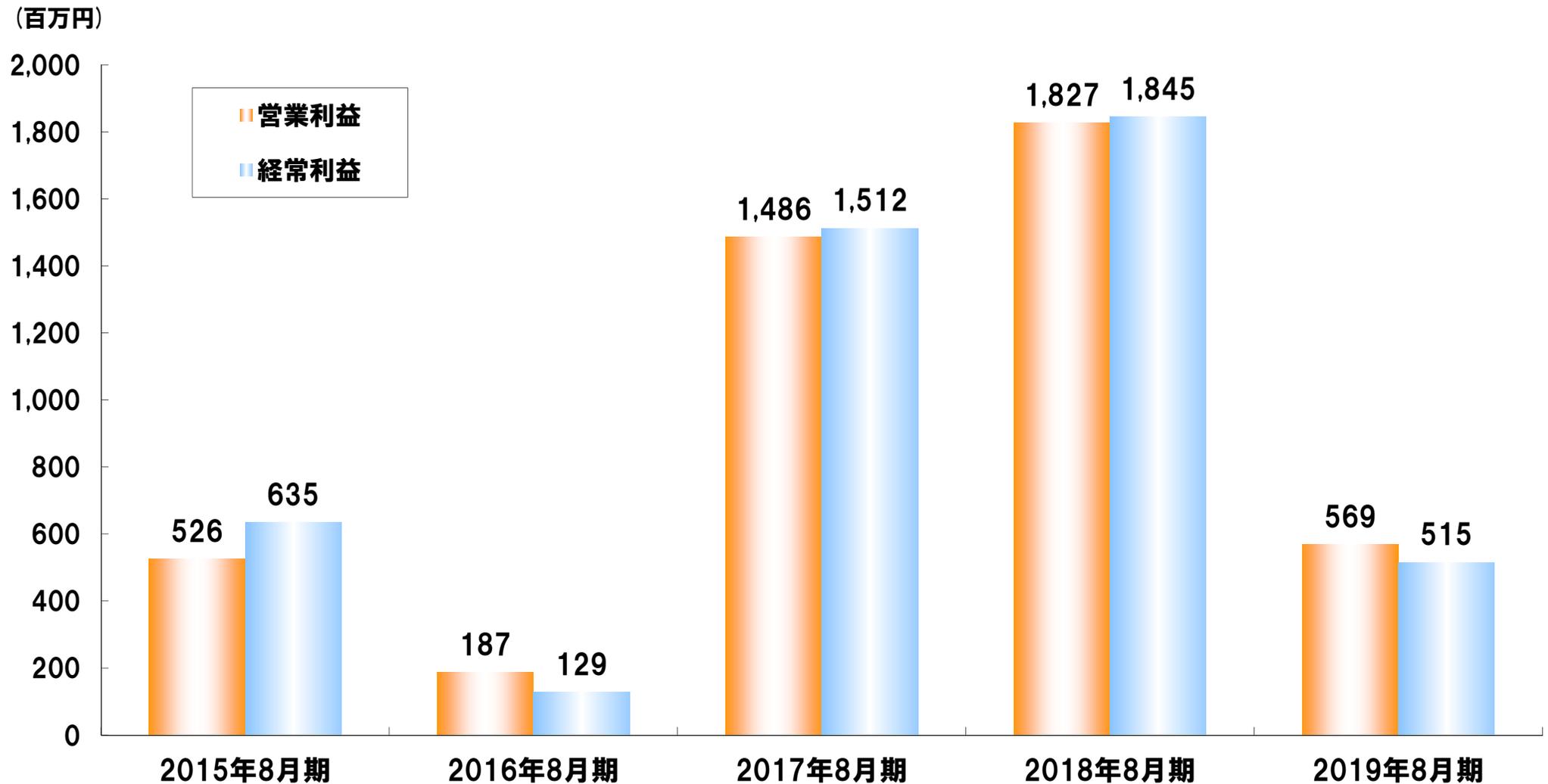
売上高・売上総利益推移（連結）

(百万円)



業績概要

営業利益・経常利益推移（連結）



業績概要

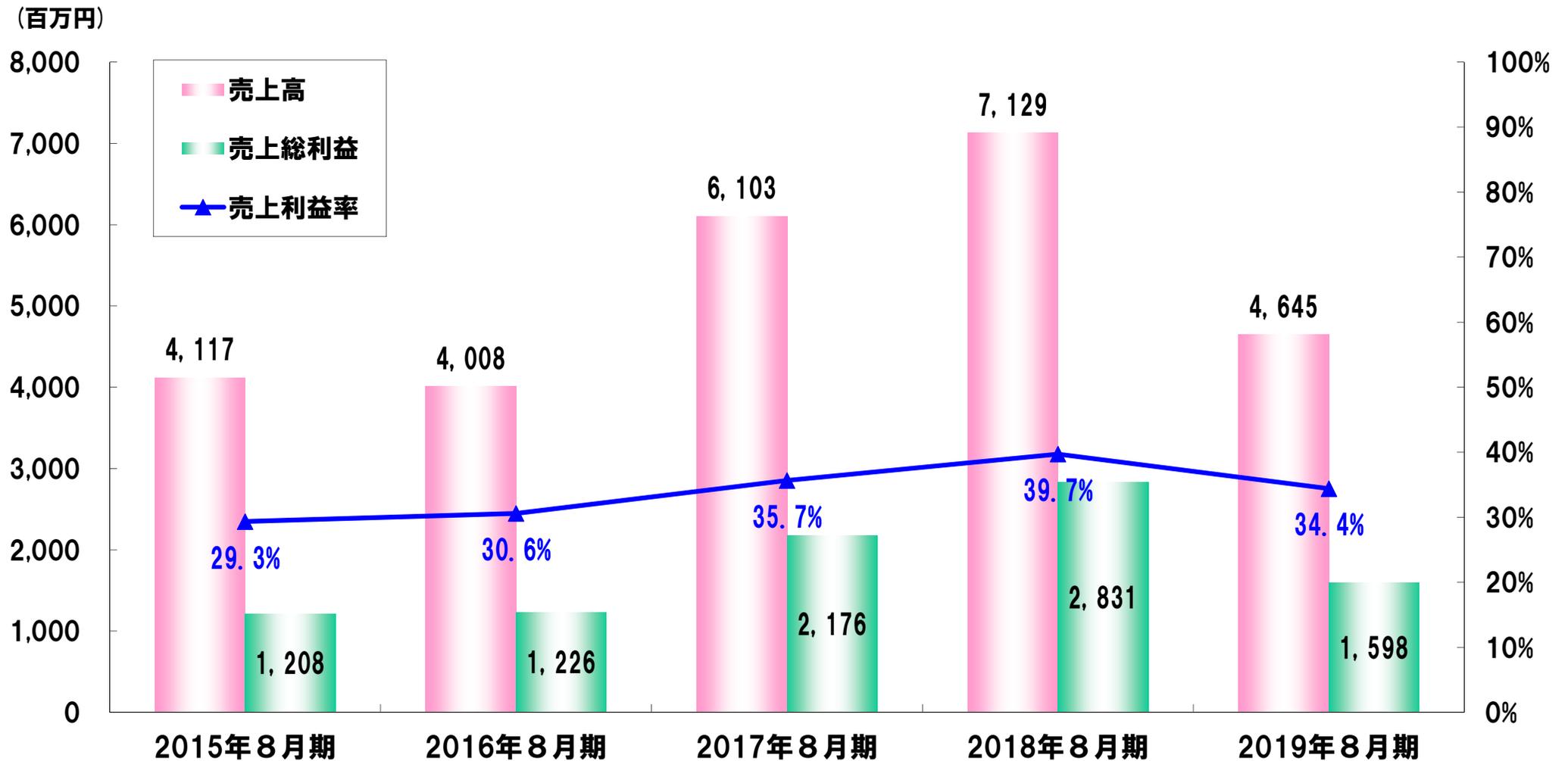
単体

(単位：百万円)

	2018年 8月期	2019年 8月期	増減額 (増減率)
売上高	7,129	4,645	△2,483 (△34.8%)
売上総利益	2,831	1,598	△1,232 (△43.5%)
営業利益	1,536	537	△999 (△65.0%)
経常利益	1,454	446	△1,008 (△69.3%)
当期純利益	1,008	305	△703 (△69.8%)

業績概要

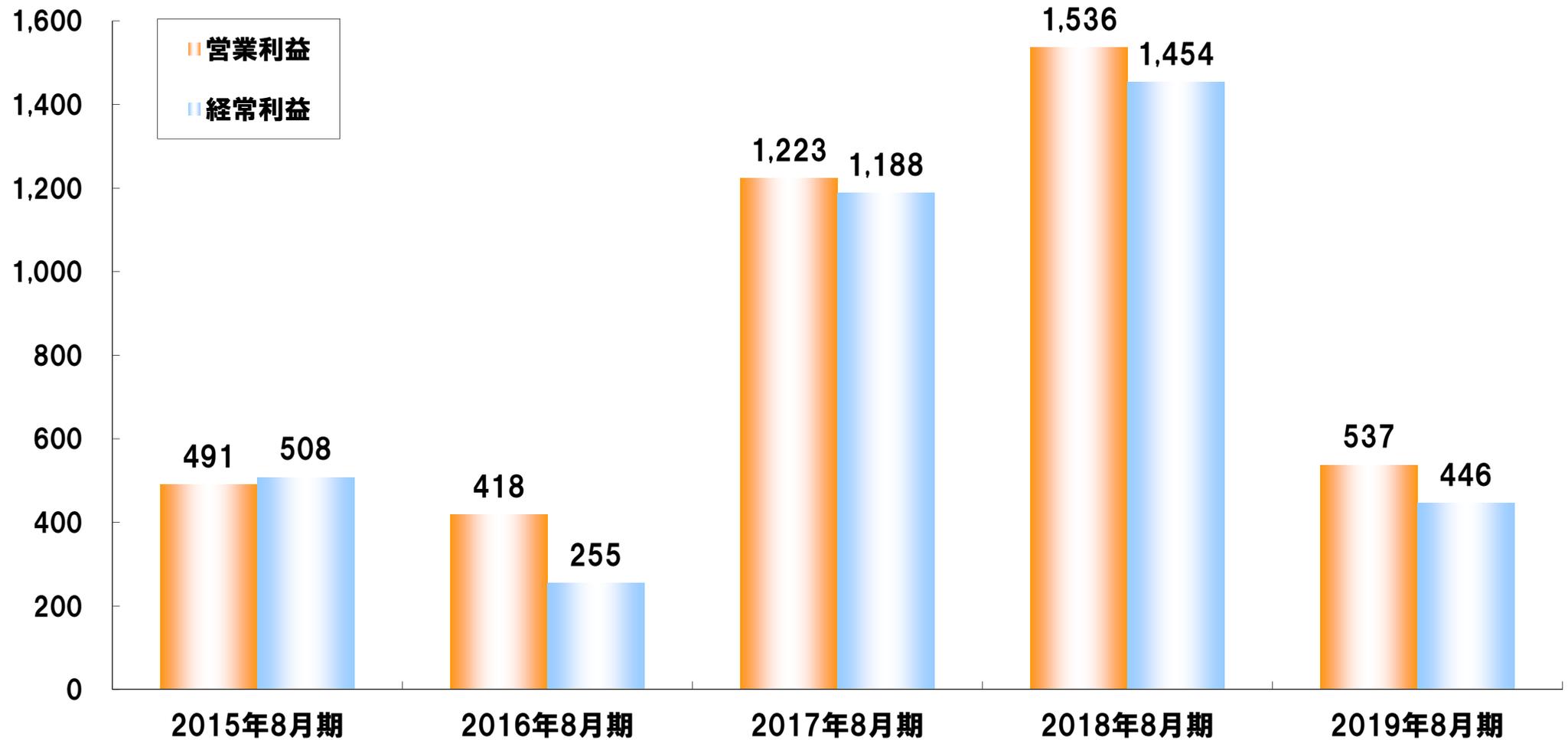
売上高・売上総利益推移（単体）



業績概要

営業利益・経常利益推移（単体）

(百万円)



業績概要

報告セグメント

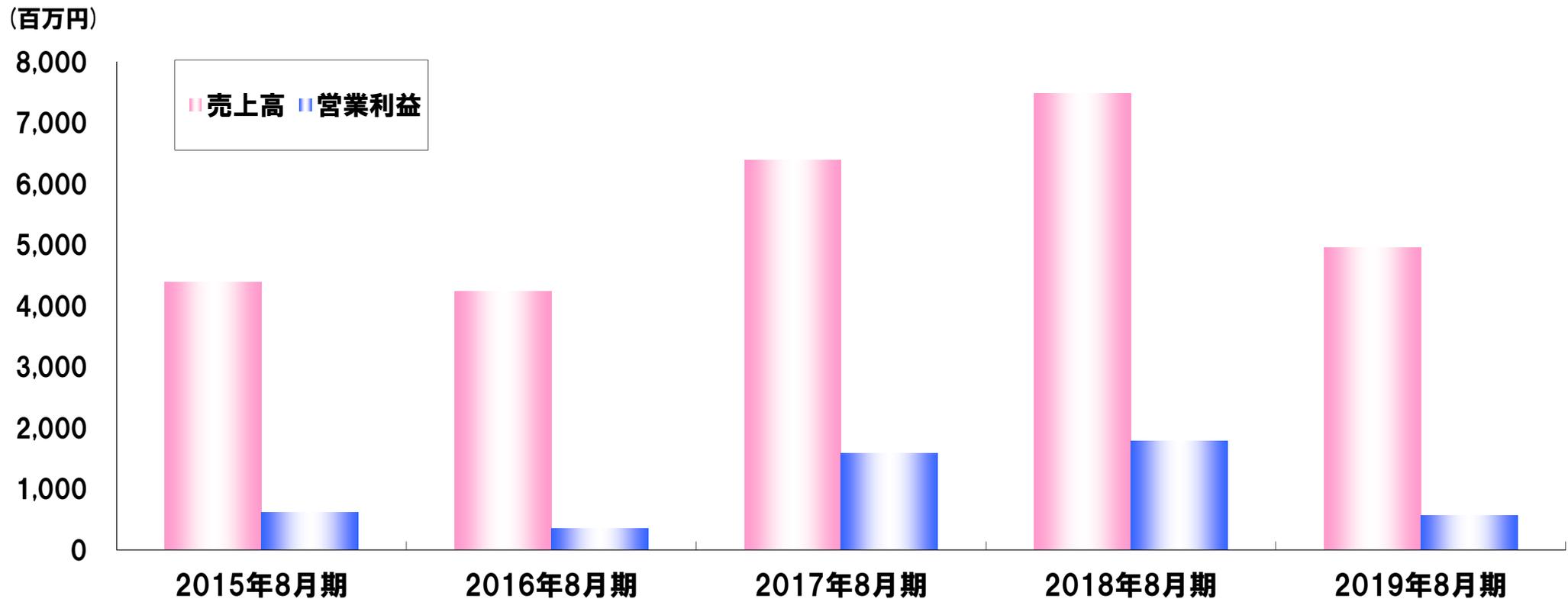
セグメントの名称	会社名
半導体・液晶関連事業	株式会社アドテックプラズマテクノロジー（日本）
	Adtec Technology, Inc.（米国）
	Adtec Europe Limited（英国）
	Phuc Son Technology Co., Ltd.（ベトナム社会主義共和国）
	Hana Technology Co., Ltd.（韓国）
	愛笛科技有限公司（台湾）
	蘇州啐啄電子有限公司（中国）
研究機関・大学関連事業	株式会社 I D X（日本）

業績概要

半導体・液晶関連事業

(単位：百万円)

	2015年8月期	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期
売上高	4,383	4,234	6,390	7,483	4,959
営業利益	611	342	1,585	1,785	556

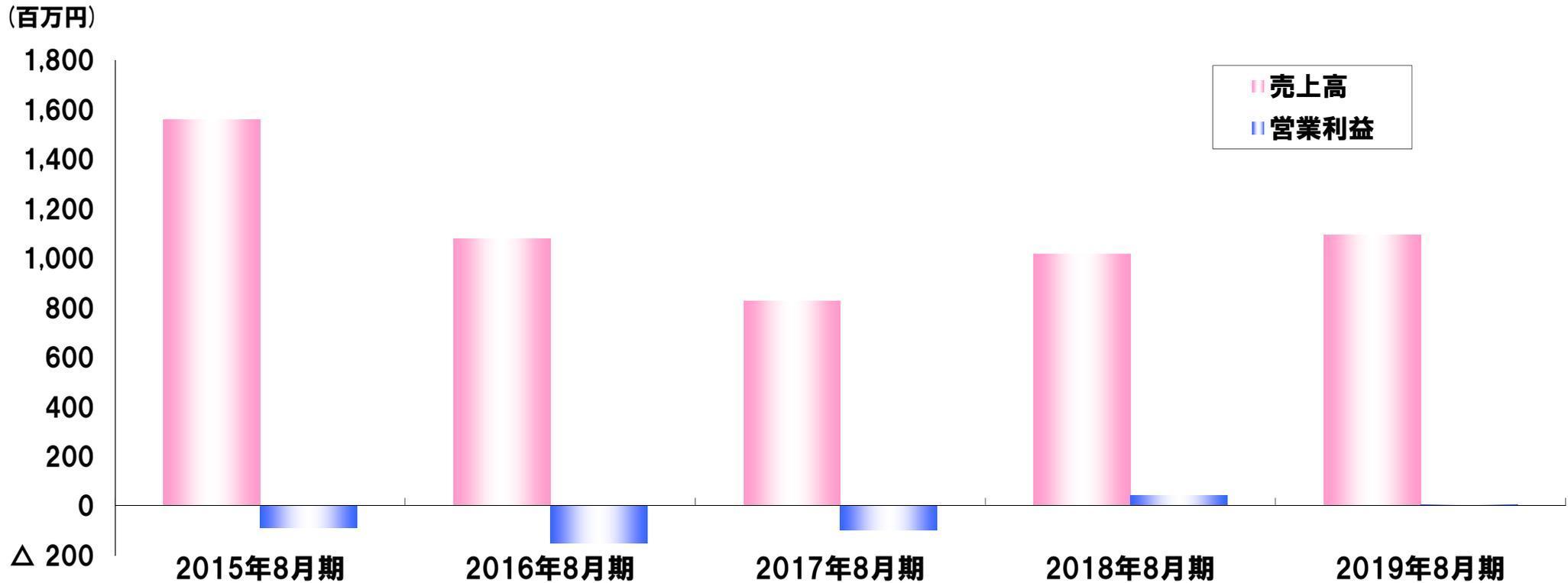


業績概要

研究機関・大学関連事業

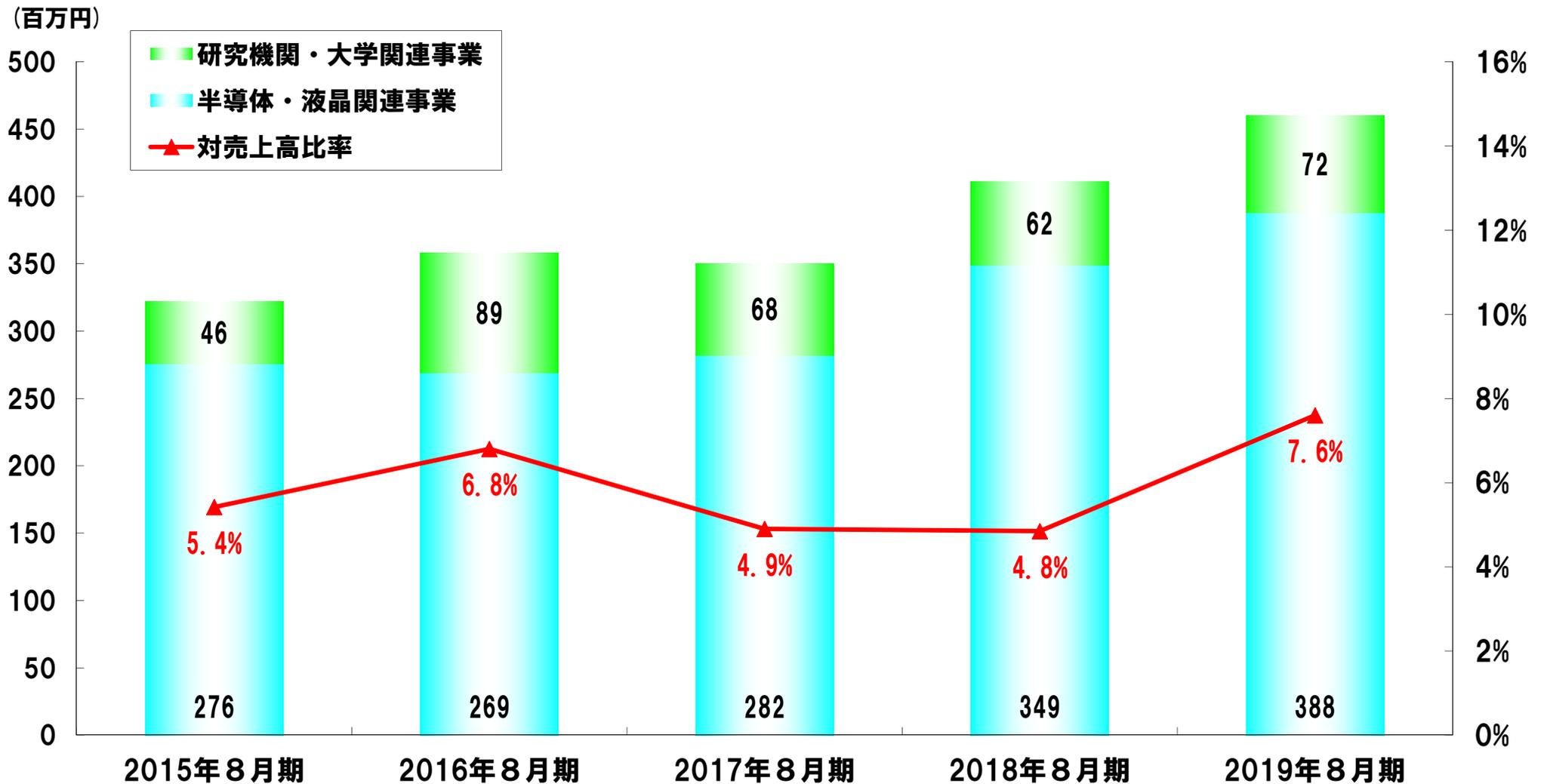
(単位：百万円)

	2015年8月期	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期
売上高	1,558	1,078	828	1,016	1,095
営業利益	△87	△155	△99	42	6



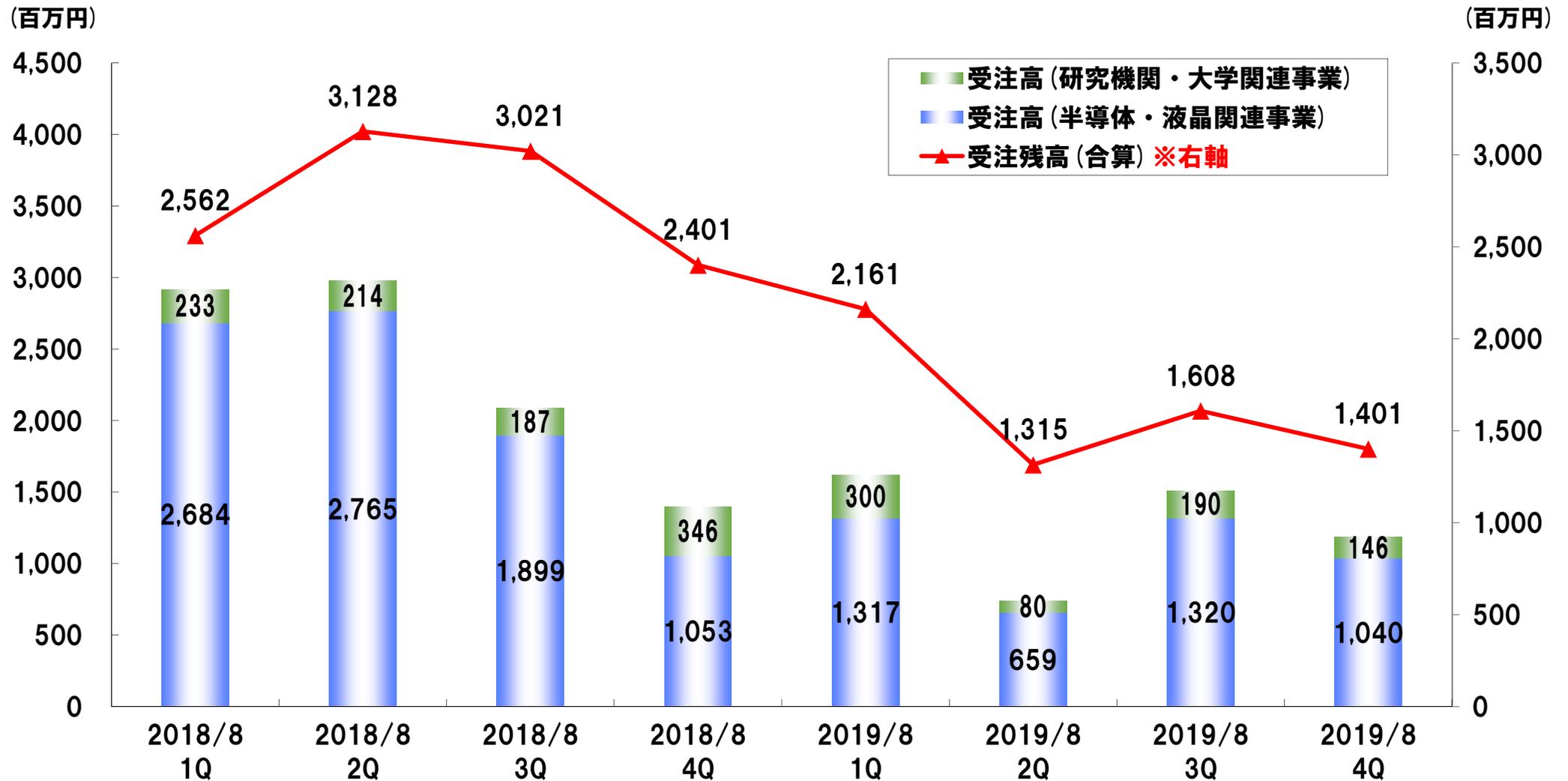
業績概要

研究開発費推移



業績概要

受注高・受注残高推移



業績概要

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	2018年 8月期	2019年 8月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△428	630	1,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	64	△300	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	405	478	72
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△80	△71
現金及び現金同等物の増減（△）額	33	726	693
現金及び現金同等物の期首残高	1,859	1,893	33
現金及び現金同等物の期末残高	1,893	2,619	726

2020年8月期 業績予想

業績予想

連結

(単位：百万円)

	2019年 8月期実績	2020年 8月期予想	増減額 (増減率)	備考
売上高	6,055	7,000	944 (15.6%)	<p>【半導体・液晶関連】</p> <p>○半導体関連は市況回復に向けた動きを見込む</p> <p>△海外サービス・サポート体制強化による経費増加</p> <p>△研究開発費の増加</p> <p>【研究機関・大学関連】</p> <p>△ビッグサイエンス受注は引き続き減少。新分野の直流電源市場の開拓でカバー</p> <p>《今後の取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外生産の拡大⇒コスト削減 ・新規市場の開拓⇒スパッタ、センサー市場の開拓 ・海外装置メーカーへの営業活動を強化し海外でのシェアUPを目指す ・グループ連携による製品ラインアップの充実と営業活動の強化
営業利益	569	710	140 (24.7%)	
経常利益	515	710	194 (37.8%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	352	490	137 (39.2%)	
1株当たり配当金 (年間) (円)	8	8	-	

今後の戦略

半導体・液晶関連事業

ADTEC製品

プラズマ用高周波電源



TXLシリーズ／TXRシリーズ

特長

- 最新CPUを搭載
(高速応答性UP)
- 新通信方式に対応

顧客製造装置メーカーにて評価中

→市場展開へ

ADTEC製品

自動インピーダンス整合装置



AMVSシリーズ

特長

- ・従来のAMVGシリーズと比べさらに整合動作が安定

顧客製造装置メーカー向けに評価販売の促進

→評価、市場展開へ

今後の経営戦略

ベトナム新工場

〈今後のスケジュール〉

- 2019年10月 一部生産設備搬入中
- 11月末 引渡し予定
- 12月 引越し、竣工式
- 2020年 1月 本格的な生産稼働開始

海外で
生産量
倍増



新工場完成予想図



2019年4月 起工式（写真中央：会長 藤井）



2019年10月上旬 工事風景

今後の経営戦略

SteriPlus (ステリプラス)



<特長>

創傷の感染症治療やバイオフィルムの減菌に効果。一般用に小型化・軽量化に成功。

※欧州医療機器認証CEマーク認証

【トピックス】

- ・ 日独血管外科学会にて**臨床結果を発表**
- ・ 2020年**ドイツと英国**で保険適用申請予定
- ・ ドイツでの臨床結果が主要な**国際医学雑誌5誌**に掲載



日独血管外科学会での発表の様子

研究機関・大学関連事業

直流電源



バイポーラ電源

製品特長

1. マルチ出力に対応

光学・半導体市場等への販路開拓

高電圧電源



静電チャック電源

製品特長

1. UL準拠、高電圧出力（±10kV）に対応

マイクロ波応用機器



マイクロ波電源

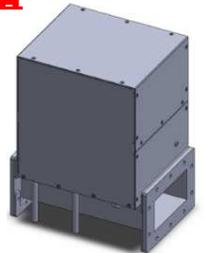


コンポーネントでの販路開拓



アイソレーター一体型発振器

(開発中)



オートチューナー

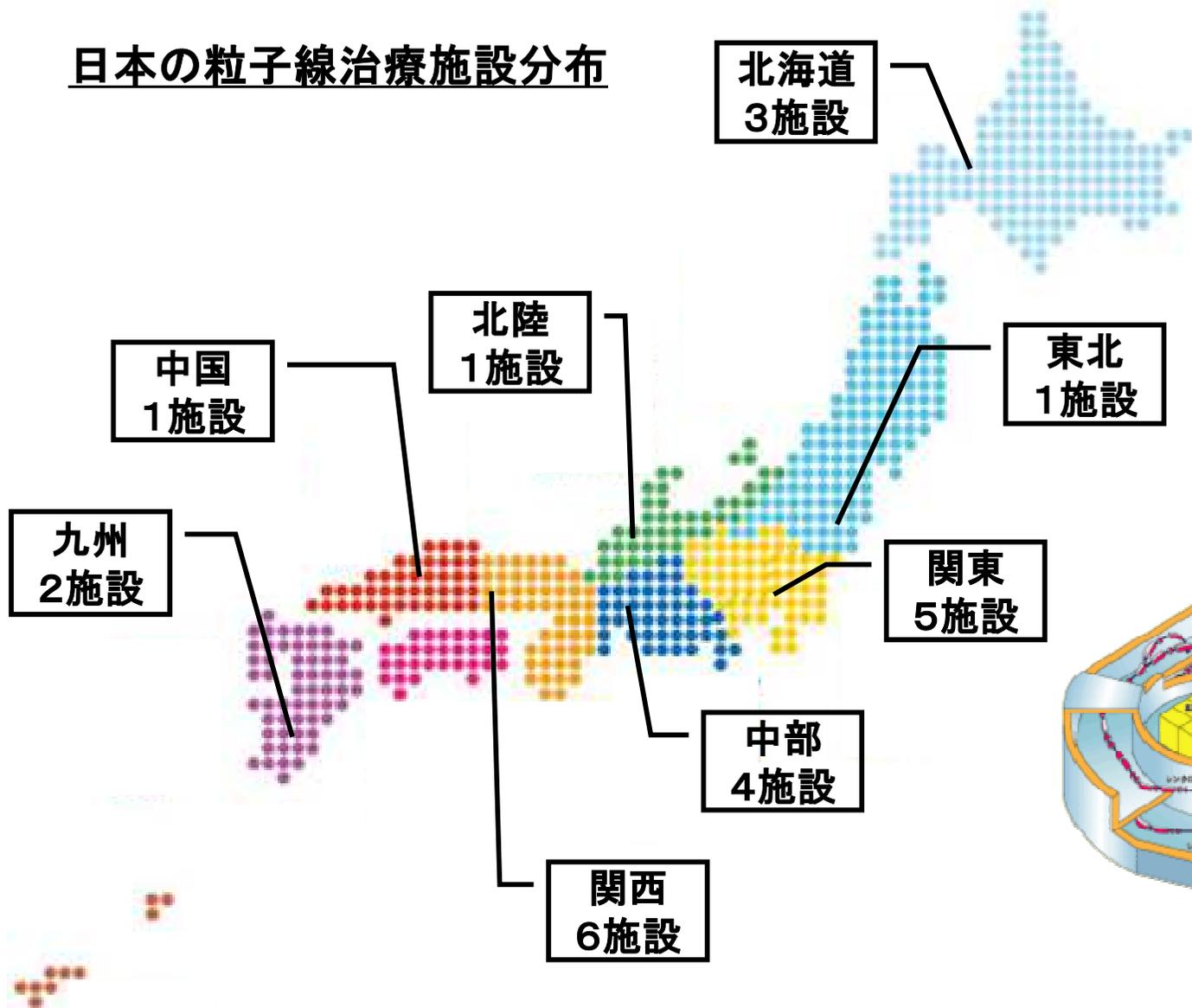
(開発中)

製品特長

1. プラズマプロセスシステム用装置に対応

今後の経営戦略

日本の粒子線治療施設分布



粒子線がん治療施設は23カ所

- ・ 重粒子線 : 5カ所
 - ・ 陽子線 : 17カ所
 - ・ 両方 重粒子線
陽子線 : 1カ所
- (2019年3月現在)

※多くの施設でIDXの電源使用
将来的には各県庁所在地に1施設構想



IDXの電源は、病院施設内の『加速器』と呼ばれる粒子エネルギーを蓄積させるための装置に使用されています。

アドテックグループ・海外代理店



Adtec Europe Ltd.
イギリス



愛笛科技有限公司
台湾



Hana Technology
韓国



Adtec Technology, Inc.
アメリカ



蘇州啐啄電子有限公司
中国



Phuc Son Technology
ベトナム



株式会社IDX
栃木県



株式会社アドテックプラズマテクノロジー
(本社)
広島県



東京テクニカルセンター
神奈川県

海外代理店

- シンガポール: Odyssey
- 中国: ATEK
- 台湾: ATEK
- 台湾: NFORT

ご静聴ありがとうございました

【当資料取扱い上の注意点】

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べておりますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されているという保証はありません。

また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。